

議案質疑

乙案第38号  
マイナンバーカード  
利活用に要する経費  
181万円(うち17万円)

榊島 永二郎

**質問** 事業の内容と経費の内訳は。  
**答弁** 消費税率引き上げに伴う反動減対策として2020年度に実施を予定するマイナンバーカードを活用した消費活性化策の実施に向けた環境整備事務経費です。内訳はマイキーID設定支援経費100万円、機器購入費・業務委託料64万円、広報等経費16万円になります。



**質問** 現在の市におけるマイナンバーカードの取得数・取得率は、また、今後の市民への周知は。

**答弁** 平成28年2月から交付業務が始まり、令和元年7月末日時点で交付枚数2062枚、交付率10.7%となります。現在、国は消費活性化策の仕組みを抜本的に見直されており、詳細は今後、国から説明されるので、わかり次第、市民にわかりやすい広報を行います。

乙案第38号  
ふるさと応援寄附に要する経費8075万6千円(うち5万円)

田淵 厚

**質問** 経費の内訳、寄附件数及び金額の推移、納税額増加の要因、今年度の状況は。  
**答弁** 返礼品の経費として報償費、返礼に係る事務委託料、ウェブサイトの使用料、消耗品及び通信運搬費、ウェブサイト受付寄附金の決済手数料です。過去3年間は平成28年度が8050件で1億35092万円、平成29年度が3669件で5368万円、平成30年度が8912件で1億2753万円です。増額の要因は、受付ウェブサイトを増やしたためと考えます。今年度は8月まで7967件9233万円です。

**質問** 寄附者への対応は。  
**答弁** ホームページ等で活用方法について定期的にお知らせしています。



乙案第38号  
複合経営等漁家経営改善支援事業費補助金120万円(うち5万円)

田淵 厚

**質問** 複合経営等漁家経営改善支援事業費補助金の具体的な内容は。  
**答弁** 養殖・加工業を営まれている内水面漁業者の機器購入に、佐賀県が100万円、市が20万円を補助するものです。

**質問** 今回の補助金は、複合経営等漁家経営改善支援事業のどのタイプとなるのか、さらに補助の上限額、申請可能な回数は。  
**答弁** 今回の補助金は、初期設備投資のチャレンジタイプに該当し、県の補助の上限額は100万円です。基本的には1回のみの申請となります。タイプとしては、ほかに地域の中核タイプがあります。



乙案第38号  
債務負担行為補正  
多久市立図書館指定管理委託料1億7964万円(うち5万円)

野北 悟

**質問** どのような事を目的として、どのような比較を行い評価したのか。  
**答弁** これまでの開館日・開館時間は利用しやすい状況とは言えず、サービスの向上を考え、直営、一部委託、指定管理の3方式について検討を行いました。

**質問** 平成30年度の経常収支比率が100%を超えている。入ってくる収入に対して、義務的な経費のほつが多い(赤字)状況で、毎年発生する経費が2000万円も増える案件が提案されたのは、昨年否決された新図書館建設が前提となった提案ではないのか。  
**答弁** 現在の図書館で課題となる部分を改善し、利便性及びサービスの向上を図るもので、新図書館建設を根拠としたものではありません。

乙案第38号  
公共施設等総合管理に要する経費742万5千円(うち5万円)

野北 悟

**質問** 何を最終目的として調査を行うのか。  
**答弁** 平成30年度から個別施設の劣化診断調査を行っています。この調査結果を基に優先順位を考え、長寿命化や更新についての方針を検討します。

**質問** 多久市のような人口の少ない自治体では、公共の施設配置は街づくりの上で非常に重要な物であり、どこに賑わいを作り、人の流れを考えることが前提でなければ意味が無いと考えるが。  
**答弁** 賑わいづくりに公共施設が及ぼす影響は少なからずあると認識しています。建て替えや統合が必要となる施設については、その再配置を検討する場合、状況によって皆さんと話し合いながら進めていくべきだと考えます。



議案番号	議案名	議決結果 賛否表															議決結果	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
		飯守 康洋	中島 慶子	田淵 厚	榊島 永二郎	國信 好永	野北 悟	田中 英行	中島 國孝	平岡 智治	香月 正則	瀬川 雄二	牛島 和廣	古賀 公彦	鷲崎 義彦	山本 茂雄	原案可決	
9月定例会 ※議案等について、賛成、反対の双方あった場合のみ、掲載しています。																		
議案甲第30号	多久市立図書館条例の一部を改正する条例	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案乙第38号	令和元年度多久市一般会計補正予算(第3号)	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	令和元年度多久市一般会計補正予算(第3号)に対する修正案	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

○は賛成 ●は反対 欠は欠席 退は退席

産業厚生委員会  
閉会中継続審査報告

本委員会では、平成31年3月1日の産業厚生委員会審査報告を受け、「市立病院の今後のあり方」、「多久市の基幹産業である農業について」を閉会中継続審査事件とすること、新たに「福祉サービスについて」も調査・検討を行うことを決定しました。



また、市立病院、農業の事件について、前委員会が平成31年2月15日付けで多久市長へ提出した申入書に対して、一定の回答を受けてお



り、今後も委員会で動向を注視して調査・検討を行っていくこととしました。  
農業に関しては、令和元年7月11日に佐賀中部農林事務所、佐賀県農林水産部から県の農業振興の各種施策である県内の「中山間地域における現状について」、「中山間地域に係る各種事業について」、「スマート農業の動きについて」等説明を受け、意見交換を行いました。  
令和元年8月5日には、県との意見交換を受けて、市農林課から市内の「中山間地域の事業について」及び「集落営農組織の法人化について」の取り組み内容や進捗状況、課題について確認しました。  
今後は、これまでに決定した閉会中継続審査事件についての行政視察や関係団体との意見交換を行うこととなります。